

地域・在宅看護論【地域・在宅看護概論Ⅰ】

担当教員	喜多 尚子	所 属	専任教員
対象学年/開講時期	第1学年/前期	単位数(時間数)	1単位(15時間)
履修の目的 地域で暮らす対象及び生活基盤である暮らしを理解し、暮らしが健康に与える影響について学ぶ。			
授業の形式 主として講義形式で行う。			
成績評価の基準等 出席、授業への参加態度、課題学習の取り組み、筆記試験を総合的に評価する。			

【教科書・参考図書】

番号	書名	発行所
①	系統看護学講座 地域・在宅看護論 1	医学書院
②	系統看護学講座 地域・在宅看護論 2	医学書院
③	写真でわかる訪問看護 アドバンス	インターメディカ
④	国民衛生の動向	厚生統計協会

【授業計画】

授業回数	履修主題	履修内容	教科書	担当教員
第1回	人々の暮らし	暮らすということ 支え合って生きること(人とのつながり、 地域とのつながり)	①②③	喜 多
第2回	生活環境と健康	人々の生活圏、生活環境(文化的・社会的・自然環境)、環境と健康		喜 多
第3回	地域・在宅看護論の対象	地域に暮らすすべての人々 健康状態(健康のよい状態～終末期)、 発達段階(胎児期～老年期)、家族		喜 多
第4回	健康の保持増進	ヘルスプロモーション、ハイリスクアプローチ、健康行動理論、セルフケア理論		喜 多
第5回	ライフステージにおける保健活動	学校保健、産業保健		喜 多
第6回	パートナーシップ	地域で暮らす人々とパートナーを組む		喜 多
第7回		接遇とマナー		喜 多
修了試験				

*この科目は、実務経験のある教員による科目です。